



# なかまだみんな

横浜市立中和田南小学校

電話 802-0979

## みなみんピックへの道のり

校長 山崎 薫

10月に入り、学校全体はみなみんピックへ向かってエネルギーが注がれるようになってきました。今年は今学年が同日に、そして演技種目も加えた状況での開催ができる見込みが立ちました。9月の代表委員会で決定したスローガン「なかまだみんな ～本気・協力・笑顔～」をもとに6年生の児童全員が「みなみんピック児童運営委員」として昨年度以上に運営にしっかりと関わり、「自分たちで作り上げていくみなみんピック」を意識しています。この主体的な活動を10月中に3日、事後に1日、最終校時を6年生のみの活動日とし、全教職員で支援しています。

21日に配付した「みなみんピック紹介誌」には、7つの委員会のリーダーが3項目についての自分の考えや思いをつづっていました。リーダーの思いのもと、同じ委員会の仲間も今日まで一緒に自分たちの役割を果たすべく準備に取り組み、本番を迎えようとしています。

全体運営委員会は、スローガンの掲示づくりに取り組みました。すでに、A棟3階に大きく表示され、全校児童の意識を高めています。当日の開閉会式の運営や進行も担うことになっています。儀式としてしっかりと運営してくれることと思います。プログラム誘導委員会は、赤白のかわいいキャラクターを作りました。プログラムやうちわにも登場し、雰囲気を盛り上げています。当日の誘導の時は、下学年の児童から、頼もしいお兄さんお姉さんと尊敬されることでしょうか。赤白の応援団委員会は応援の動きをわかってもらうためのビデオを作り、給食の時間に放映しました。先日の全体練習では組全体をしっかりとリードできました。敵味方ではなく、ライバルとして盛り上げる時に協力し合う姿も清々しいです。放送委員会は当日の放送原稿を練り、各自が一生懸命練習しているそうです。当日の進行をスムーズに進めるために放送の役割は大きいです。円滑な進行の鍵を握っています。練習の成果をぜひ発揮して大役を務めてほしいです。用具準備運動委員会は、当日用具を素早く準備や片づけができるよう分担を作りあげ、本番を待っています。また、6年生で考えた開会式での「スマイル運動」の時は、リーダーとなって全校児童の前で手本となれるよう練習を重ねています。決勝審判・得点委員会は昨年度好評だった「メダル」を用意しています。当日は迅速な集計作業も求められます。リーダーが記した意気込み「みんなが楽しめるような運動会を裏で支えていきたい」は、自分たちの役割の大切さを実感している表れです。

演技や競技の練習にも熱が入っています。3、4年生の担任からは、休み時間に自分たちでビデオを流し自主練習する児童が多いという報告が届いています。6年生は本気の姿を姿勢で示すよう担任が求め、しっかりと応えています。一緒に練習している5年生にその姿が伝わり、その気づきが5年生の演技の進歩につながっています。低学年は楽しくかわいらしくのびのびと「ツバメ」を踊っています。4クラス約100名の前で手本を示す担当教諭も一緒に楽しんでいます。全身から醸し出される雰囲気が自然に子どもたちに伝わっています。

本番も間近です。ここに至るまでの子どもたちの取組がきっと当日をすばらしいものにしてくれると思います。保護者の皆様におかれましては、感染対策、マナーにご理解ご協力の上、お子さんの姿を楽しんでいただければ幸いです。どうぞ、よろしくお願ひします。